

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 26

2010.4

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

患者さんに最善な医療を提供するために
地域の医療機関との連携を
大切にしています

関連施設紹介／訪問看護ステーション ふくずみ

患者さんに最善な医療を提供するために 地域の医療機関との連携を 大切にしています

脳血管障害の危険因子には、高血圧症、糖尿病、高脂血症、慢性腎臓病などの内科的疾患が深く関与しています。柏葉脳神経外科病院では、こうした疾患を抱えている患者さんの治療にも迅速に対応できるように、近隣の病院や診療所の各専門医と緊密に連携しています。

地域医療連携の仕組み

地域医療連携とは、地域の病院・診療所が、それぞれの長所を生かしながら役割を分担し、連携して適切な医療を行う仕組みです。



紹介患者さんの診療

地域の病院や診療所から依頼を受け、紹介患者さんの検査・治療を行います。

結果や経過の報告

紹介患者さんの検査結果や治療経過は、当院の担当医がかりつけ医に迅速・正確に報告します。

医療機関の紹介

かかりつけ医がない場合は、患者さんと相談しながら、退院後の診療を担当する医療機関を紹介します。

地域医療の質の向上

地域の専門医同士が集まって勉強会を開催したり、職員対象の研修会を実施しています。

地域の医師同士が協力し合い 役割を分担しています

脳血管障害の背景には 内科的疾患があります

脳血管障害の発症には、高血圧症、糖尿病、高脂血症、慢性腎臓病などの内科的疾患が危険因子として深く関与しています。

特に高齢の患者さんは内科的疾患を併存していることが多く、脳血管障害を発症すると若い患者さんよりも重篤に陥るリスクが高くなっています。脳血管障害の診療は、内科的疾患の状態も含めて総合的に検討する必要があります。

近隣の専門医と連携し クオリティの高い医療を

当院では、脳血管障害の治療中も患者さんの内科的疾患に配慮し、必要な治療を適切に継続することができるよう近隣の病院や診療所と連携しています。専門医同士が情報を交換し、十分に検討した上で「患者さんに最適な医療」を導き出します。

また、近隣の内科専門医に院内研修会の講師を依頼し、当院職員が脳血管障害と内科的疾患の関与などについて学ぶなど、「医療者同士の顔の見える関係」を大切にしています。

脳血管障害の予防・治療には 脳神経外科医と内科医の 連携が必要です

柏葉脳神経外科病院では
24時間365日体制で
急患を受け付けています
☎011-851-2333

脳血管障害の前兆を 見逃さないでください

たとえ一過性でも下記の症状が見られた場合は、一刻も早く119番で救急車を呼ぶか、当院で受診しましょう。「一晩様子を見てから…」と受診が遅れると適切な治療を受けられずに、寝たきりになることも。特に脳梗塞の治療は早ければ早いほど、後遺症が少なくなることが分かっています。

- 意識がなくなる
- 片方の手足など半身の動きが急に悪くなる
- 片方の目が見えにくくなる、視野が狭くなる
- 突然ろれつが回らなくなる、言葉が出にくくなる
- 突然ふらつき、歩けなくなる

脳血管障害のハイリスク群

- 睡眠時無呼吸症候群(SAS)
- メタボリックシンドローム
- 慢性腎臓病(CKD)

脳血管障害の 危険因子

- 高血圧症
- 心房細動
- 糖尿病
- 喫煙
- 脂質異常症
- 飲酒

脳血管障害

上の図のようなハイリスク群、危険因子を取り除くことは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳血管障害の発症や再発を予防し、治療にも役立ちます。そのため、脳神経外科医と内科医の連携が重要になるのです。



7人のスタッフが丁寧に診療を行っています(左前が水戸院長)

連携医療機関

インタビュー

みと内科循環器クリニック 院長 水戸孝文

札幌市豊平区福住1条1丁目7-1
電話 011-851-2800



生活習慣病は脳血管障害の原因にも

私たち内科医は、生活習慣病を抱えている「脳血管障害予備軍」の患者さんを診ている立場です。

生活習慣病は動脈硬化を引き起こし、動脈硬化は脳血管障害を引き起こす原因とされています。脳血管障害の発症を防ぐには、内科医のもとで生活習慣病を治療し、脳血管障害の亜急性期や回復期、慢性期の診療には、脳神経外科医と内科医の連携が必要だと考えています。

万が一の場合も迅速に連携

当クリニックでは、生活習慣病の治療と脳血管障害の早期発見に力を入れていきます。

父が診療していた時代から診ている103歳の患者さんから私が学んだのは、生活習慣病の継続的コントロールの大切さです。また、患者さんに責任ある医療を提供するため、学会に出席し最新医療を学び、専門分野の異なる医療機関と積極的に連携しています。

万が一、患者さんに脳血管障害が疑われた場合は、柏葉脳神経外科病院に連絡し、障害に応じた最善の医療を患者さんが受けることができるよう体制を整えています。

私たちの考えについて

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります。

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

関連施設紹介

訪問看護 ステーション ふくずみ

看護師7人、理学療法士1人、
作業療法士1人

ご自宅での療養生活を 支援しています

ご家族とともに 安心できる療養生活を

訪問看護は、かかりつけ医の指示にもとづき、看護師やリハビリスタッフが定期的にご自宅に伺い、療養生活の日常ケアや医療器具の管理、リハビリテーションなどを行うサービスです。万が一の場合も迅速に対応できるように、24時間体制を整えています。

一人ひとりにあった 自立を支援

利用者さんは、脳血管障害やパーキン

ソン病、認知症の患者さんなどで、豊平区・清田区・白石区・南区に住む11歳から96歳までの87人（2010年3月現在）です。
「その人なりの自立」を支援するために、暮らし方や価値観をスタッフが理解し、必要なサービスを提供しています。病状の変化や異常を早期に見てもらうよう、家族への助言や指導も行います。

訪問看護の内容

- 食生活、清潔、排泄等の日常生活のケア
- カテーテルなどの医療機器の管理
- 健康状態、病状の観察と助言
- リハビリテーション
- 床ずれ、創の処置
- 服薬指導・管理
- 介護相談
- 在宅ケアサービスの紹介

お気軽にお問い合わせ ご相談ください

利用できる方
かかりつけ医が訪問看護を
必要と認めた方

連絡先
☎ 011-855-2933
(担当：小林恵子)

受付時間
平日 午前9時～午後5時



訪問看護車は6台。ベテラン看護師がご自宅へ伺います。

編集後記

当院では、4月に18人の新人を迎え、希望に満ちた瞳と明るい笑顔をたやすことなく、全職員が一丸となつて理念の遂行に尽力しようとあらたに誓ったところです。春の陽気につい薄着になりがちですが、体調管理にはご留意ください。

(小川)

顔を出した露の
臺に春を感じる
今日この頃、皆
さん如何お過ごし
でしょうか。